

震災手形損失補償公債法案外一件特別委員會會議事速記録第八號

(一八〇)

昭和二年三月二十二日(火曜日)午後一時
三十九分開會

○委員長(伯爵林博太郎君) 是ヨリ震災手形損失補償公債法案外一件ノ特別委員會ヲ開會イタシマス、阪本君

○阪本君之助君 私ハ主ニ委員長ニ御尋ネテ、政府トノ間ニ御交渉ガ重ナッテ居ルヤウデゴザイマス、後ニハ研究會ノ世ニ所謂幹部ナル御方ガ御携リニモナッテ居ルヤウデアリマスガ、此委員會ハ御承知ノ通り去ル十八日ニ質問ヲ終リマシテ、是ヨリ將ニ討論ニ入ルカ、若クハ豫テ私共ノ希望イタシテ諸君ニモ御異存ノナカッタ懇談會ニ入ルベキ時期デアッタノデアリマス、然ルニ委員長ハ御都合ガアリマシタカ、十九日ハ御休會ニナリマシタ、ソレデマア私共ノ傳聞スル所ニ依ルト十八日ノ本會ハ三時半頃ニ終タト記憶イタシマスガ、其後間モナク或ル二三ノ御方ハ直チニ御寄合ニナッテ御相談ニナツタ、其結果ガ段々政府トノ間ニ御交渉ニナツタヤウニ思ハレルノデアリマス、デ委員諸君ガ唯一箇ノ御資格デ政府者ノ間ニ御話ニナルトモ何等ハ私共彼是申スベキコトデゴザイマセヌシ、又殊ニ研究會ナリ公正會ナリノ、反正會若クハ研究會其モノノ立場カラシテ、政府ノ人ト御話合ニナルト云フコトモ是亦私共ノ干渉スル事柄デナイト云フコトハ萬々承知イタシテ居リマ

スガ、形ノ上カラ申シマス、如何ニモ我ガ特別委員會中ノ委員ガ、特別委員會ノ經過ニ依ッテ御考ガツイタコトヲ一ツノ案件トシテ御交渉ニナツタヤウニ見エ、サウデナイト云フ御辯明モ亦承ルコトデアリマセウガ、確カニ世間ノ者ノ眼カラ見マス、特別委員會中ノ委員ガ相當ナ考ヲ纏メテ之ヲ政府ト御交渉ニナツテ、サウシテ政府ハ之ヲ議論ヲ上下スルト云フハ、實ニドウ云フ目的デサウ云フ御方ト御相談ニナルノカ、其御方ニモ何ヲ仰シヤッタカラト云フテモ、特別委員會ヲ代表シタモノデモナケレバ、議會ヲ勿論代表シタモノデナイ、固ヨリ内部ニ於テ有力ナ御方ニデ、其御方ニモ仰シヤルコトハ直チニ議會ノ多數ヲ制スルト云フコトハ、事實ニ於テハ免レザル所デアルト存ジマス、是ハ事實ノ話デ、形ノ上カラ申シマス、左様ナコトノアルベキ答ハナイノデアリマス、然ルニ我ガ物顔ニ色メノ事ヲ御提出ニナツテ、政府ハ洵ニ専心ニ當ッテ恰モ縁日ノ植木ヲ賣ルガ如クニ懸引ヲシテ、ソレガ纏タト今朝ノ新聞ニアルガ、政府ハ非常ニ喜ンダデゴザイマセウ、最初ハ非常ニ秋霜烈日ノ如キモノヲ御出シニナツタヤウデアリマスガ、後ニハ洵ニ春風駘蕩ナ案ニ纏タノデアリマス、纏タンデモナンデモナイ、當リ前ノコトデアリマス、アノ位ナラバハ初メカラ交渉モ何モ要タ話デハナイノデアリマス、其邊ノコトノ内容ハ固ヨリ此際批評スベキ限リデハナイノデアリマスガ、如何ニモ此爲サレ方ガ當委員會ヲ無視セラレタノデアリマシテ、懇談會ヲ願ヒタイト云フコトヲ申シテ、政府

委員ノ出席ヲ求メズシテ、各、腹藏スル所ヲ隔意ナク申述ベテ宜シク御相談ヲシテ見ル、固ヨリ其相談ガ纏ルカ纏ラヌカハ別トシテ、兎ニ角皆様ガサウ云フコトヲ持出シテ、而シテ後自然ノ結果トシテ、特別委員會ヲ代表シタルガ如キ意味ニ於テ御交渉下サルコトニナレバ、非常ニ其勞ヲ多トスルモノデアリマスガ、マダソコニ行ッテ居ナイ、行ッテ居ナイモノヲ出シ拔ケニ、我物顔ニ政府ト御交渉ニナルト云フコトハドウ云フ御考カラ出タモノデアルカ、私特別委員長ニ御尋ネシタイコトハ、斯様ナ行動ヲ我ガ委員會中ニ爲サレル方ガアルノハ委員長トシテハ相當ナコトト御認メニナッテ居ルノデアリマセウカ、十九日ニ御休メニナツタコトハ御都合ダト言ヘバ致方ゴザイマセヌ、如何ニモ是等ノ人ガ政府ト交渉セラレ、或ル會派ノ内部ニ纏ルノヲ待ッテ居ラシヤッタカノ如クニ思ハレル、又思ハザルヲ得ヌノデアリマス、デ、其コトガ成リ立ッテ爲ニ今日御開會ニナツタカノヤウニ感ゼラレルガ、若シ是ガ假ニ今日迄纏ッテ居リマセヌナラバ、恐ラク今日ノ午後ノ御開會ハ御見合セニナツタンデヤナイカト云フコトヲ想像シ得ルノデアリマス、之ニ對シテ宜シク委員長ノ御所見、及ビ之ニ關係アリト新聞ニ傳フル所ノ諸君ノ御釋明ヲ承リタイノデアリマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 阪本君ニ御答ヲ致シマス、此特別委員會ノ或ル二三ノ方ガ政府ト交渉シ立案ヲスル爲ニ、十九日以来二三日委員會ヲ開カナカッタト云フコトノ御質問ニ對シマシテハ、私ハ特別委員長トシテサウ云フ意味ニ於テ流會ニ爲シタ次第デハナイノデアリマシテ、斯ノ如キ重大ナ案ハ討論ニ入ル前ニ能ク慎重ニ考慮シテヤラナクテハナラヌト云フ御説モアツタヤウデアリマスカラ、其意味ニ於テ今日迄開カナカッタ次第デアリマス、而シテ政府ト或ル二三ノ方トノ間ノ折衝ガ出来ナケレバ今日モ開カナカッタデアラウト云フ御想像デアリマスケレドモ、私ハサウ云フ意味ニ於テ何等交渉ヲ受ケタコトモアリマセヌノデ、本日之ヲ開會スルト云フコトハ適當ナ時デアルト考ヘマシテ、開會イタシマシタ次第デアリマス、又特別委員會ノ御方ガ、若干ノ御方ガ政府ト交渉ニナツタ云々ト云フコトモ、特別委員會トシテノ御交渉デハナイノデ一個人トシテノ御交渉カ若シアッタトスレバ、サウ云フ風ナ意味ニ於テ御交渉ガアッタコトト考ヘマスノデ、是ハ特別委員會ニハ關係ノナイヤウニ私ハ想像イタシテ、左様ニ自分デハ考ヘテ居ル次第デアリマス

○阪本君之助君 尙ホモ少シ唯今ノ御答中ニ補足イタシテ伺ヒタイノデアリマスガ、十九日ト云フ日ガゴザイマシテ、又二十日二十一日ハ休暇デハゴザイマスルガ、會期切迫ノ場合デアリマシテ、唯今御述ベノ通り重大ナ問題デアリマスカラ、豫テ委員會中ヨリ希望イタシテ懇談會ヲ開キタイト云フコトヲ御願シテ居ッタ以上ハ、宜シク十九日若クハ二十、二十一日、此三日ノ間ニドウカ御開會ノ御都合ガツキサウナモノデアッタと思フ、休暇ハ休ムノガ當然ダト仰シヤレバソレ迄デアリマスガ、如何ニモ此三日間空シク致シテ漸ク今日最早形ハ政府トノ

間ニ或ル二三ノ御方ト御相談ガツイテ居ル、而モ有力ナ會派ノ幹部ガ總出デヤツテ居ラシヤルコトデ、マルデソレハ魚ノ喰殘リヲ此委員會ヘ御出シニナルヤウナ、左様ナコトニナラヌ前ニ茲デ御相談シタイト云フコトヲ申シテ居タニモ拘ラズ、散々シヤブツテ骨ヲ我ニニ紙メサセルト云フコトハ如何ニモ心外ニ存ジマス、三日間御休ミニナラタニ云フコトニ付テハ何等異議ハナイノデアル、唯今御述べノ中ニ含シテ居ルモノト心得マスガ、如何ニモ甚ダ遺憾ニ存ジマスガ、委員長シテ何カ止ムヲ得ザル御都合ガアツタノデアリマセウカ

○委員長(伯爵林博太郎君) 別ニ之ニ付テハ止ムヲ得ザル都合ト云フコトデモナイデスガ、慎重ニ考慮スルノニハドウシテモ一兩日ハ要スル、ソレニ日曜祭日デアリマスノデ、殊ニ祭日ハ餘程ノ急ナ場合デナケレバ開カナイト云フノガ今迄豫算委員會ニシマシテモ、特別委員會ニシマシテモ、常例ニナラテ居ルヤウナ次第デアリマス、旁、深甚ナル考慮ヲ廻ラス意味ニ於テ三日間開會イタサナカッタノデアリマスカラ、ドウゾ其邊ハ惡シカラズ御了承ヲ願ヒタイノデアリマス

○男爵池田長康君 唯今阪本サンノ御話ノ點ハ私モ同感ニ考ヘテ居リマス、併シ今之ヲ彼此私申上ゲルノデアリマセヌガ、委員會ニ於キマシテモ質問モアリマシタガ、多少非公式ニ懇談會ト云フ運用モアルノデアリマス、皆様ノ多少ノ意見ノ交換位ハシテ、決メズニ、ソレカラ各會派ニ皆様ノ意見ヲ紹介シ得ルダケノ餘地ガアツタラバ宜カッタト云フヤウニ私ハ感ジマス、ソレカラソレトハ別問題デアリマスガ貴族院ニ於テ研究會ガ大會派デアルト云フコトノ爲ニ世評モ彼是アルノデアリマス、研究會ノ

問題ヲ彼是私ハ申上ゲルノデアリマセヌガ、十分ニ會派ニ御歸ヘリニナリマシテ、斯ウ云フ意見モアツタト云フコトヲ能ク御紹介ヲ願ヒタイ、ソレカラ唯今阪本サンヨリ御話ガアリマシテ、ナヨット私ハ申上ゲテ置カナケレバナラヌノハ研究會及ビ公正會ト云フコトヲ御話ニナツタ、主トシテ公正會ニ於キマシテハ、具體案ニ付キマシテ政府ト交渉シタ人ハナイト思ヒマス、又公正會ノ幹事ノ中ニ於テモ具體案ヲ持テ交渉シタ人ハナカラウト思フ、實ハ本員モ今朝ニ於キマシテ大體ノ御話ヲ聴キ、又多少ノ交渉ノ經過ニ付キマシタモノヲ手ニ入レタヤウナ次第デアリマシテ、公正會ト云フコトヲ政府ニ於テ具體案トシテ交渉シタト云フコトハナイト思ヒマス、或ハ幹事ノ職ニアリ、或ハ特別委員ノ中ニモ政府ト云々ト云フコトハ此具體案作製ノ結果ニ付テハナカラウト思フ、或ハアルカモ知レマセヌケレドモ、少クトモ本員ハナイノデス、其コトハ阪本サンニ能ク申上ゲテ置キマセヌト……念ノ爲ニ私チヨット釋明イタシテ置キマス

○子爵前田利定君 事個人ニ關スルコトデスカラ御答辯ト申シマスガ、釋明ト申シマスカ、必要ハナイト考ヘテ居リマシタガ、私ノ所屬ノ會ノコトニ付キマシテ仰セニナリマシタカラ、會ノ爲ニ一應釋明セザルヲ得ヌ次第ニナリマシタ、固ヨリ御同様ニ特別委員會ニ連日審査研究ヲ致シテ居タ次第デ、會トシテモ委員會トシテモ何等マダ政府拔キノ懇談會ヲ開ク程度ニ熟シテ居ラナイノニ、其特別委員ノ一人タル者ガ特別委員會ノ成案ノ如ク、或ハ又所屬團體ノ成案ノ如クシテ政府ニ交渉スル筈ガナイノデアリマス、又左様ナコトヲ致シマシテモ何等効ノナイモノデアアル、左様ナコトヲ致ス馬

鹿モナイダラウト思フノデアリマス、唯何カ先般ノ新聞ニ前田案トカ、前田菅原案トカ云フヤウナ表題デ條件見タヤウナモノガ出來タトカ云フ記事ハ出タノデアリマス、之ニ付テ一應申上ゲテ置キタイト思ヒマス、丁度前日ニ菅原君ト食堂ノ中デ會ヒマシタ節ニ、ドウダ菅原君、君ハ考ハドンナ考カ、僕ノ考ハ斯ンヤウナ所デ纏メタラ宜カラウト思フガドウダラウト云フヤウナ、食事ノ折ニ斷片的ニ話合フシタコトガアツタノデアリマス、其當時私ノ考ヘテ居タコトト、菅原君ノ考ヘテ居ラレルコトガ大體ニ於テ共鳴スル點ガアツタノデアリマス、マア一ツ御互ニ能ク考ヘテ研究シテ見ヤウデヤナイカト云フタニ過ギナイノデ、何等其時ニ案文ヲ作製シタコトモナケレバ、又私ハ新聞屋ニ話シタコトモ何モナイ、唯委員會ノ中ノ友達同志ガ食事ノ際ニ自分ノ意見ヲ交換シタニ過ギナイ話デアアル、私ニ於テハ政府筋ト話合タコトモ何ニモナイ、然ルニ翌朝ノ新聞ヲ見マスと云フト、何カ私ト菅原君ト首ヲ鳩メテ案ヲ作製シテ、ソレヲ持テ政府ニ交渉スルトカ、或ハ交渉セントスル趨勢デアルト云フヤウナ意味ノ記事ガアツタノデ私ハ驚イタノデアリマス、殊ニ近頃ノ新聞ヲ彼是批評スルノハ好ミマセヌガ、實ニ嘘種ヲ以テ充サレテ居ル、菅原君ノ家ニ馬場君ト私ト林委員長ガ會合シテ協議ヲシタトカ、或ハ又某料理店ニ研究會ノ者ガ集合シテ話合タトカ、或ハ又私ガ福原君トホシノ歌ノ趣味デ落合タノヲ、而モ其席ニハ新聞記者ガ二人會合シテ居タニ拘ラズ、何カ研究會ト公正會トガ話合テ居タトカ、又或ル時ニハ私ガ人ニ招待サレテ或ル料亭ニ行ク、私ノ友達ガ別人ニ招待サレテ別ノ家ニ居タノニ拘ラズ、研究會ノ人間ハ車ヲ方々ヘ散

ラシテ九デ彼等ハ談合ノ爲ニ何處ニ集タトカ、ドウモ見テ來タヤウナ嘘ヲ揭ゲテ居ルニ至リテ實ニ驚入ル次第デアアル、私ニ於テハ菅原君ニ於テモ同様デアラウト思ヒマスガ、左様ノコトハ致シタコトハナイ、又イタシテ見タ所ガ何等ハ效ノナイ話、マダ自分ノ會ノ意見モ決マラナイノニ左様ナコトヲ持出シテ見タ所ガ、何等申ヌモノイコトデ、左様ナ私ハ……ソナ馬鹿ヲ致シタコトハナイノデアリマス、又會ト致シマシテモ色ニ新聞ニ書イテアリマシタガ、御承知ノ如ク研究會ハ政友會ノ系統ノ人モ居レバ憲政會ノ系統ノ人モアル、所謂味方ノ系統ノ方モアリ、或ハ又反對黨ノ方モアル、又何等政黨派ニ關係ノナイ人ガ居テ、左様ナ團體デアリマスカラ、研究會ノ意思ハ總會デ初メテ意思ト云フモノガ決定スルノデアリマシテ、總會ノ意思ナクシテ研究會ノ意思ナルモノハ存在スルコトハナイノデアリマスカラ、或ハ會ノ中ニモソレゾレ政黨ノ中ノ關係ナラ關係ニ、身負ニ此案ヲ自分ノ利方ノ方ニ一ツ漕付ケヤウト云フコトデ、個人ノ御行動トシテ泳ギ廻テ居ラレル方ガソレハアルカモ知レマセヌ、アルカモ知レマセヌケレドモ是ハ個人ノ行動デアツテ、決シテ會ノ行動ト看做スベキモノデナイ、又左様ナ事ニ依テデシナ話ヲシヤウトモ、吾々左様ナコトニ拘束サレル筈ハナイ、斯様ニ信ジテ居ル次第デアリマス、而シテ御承知ノ通り研究會カラ政務官モ出テ居リ、大臣モ一人研究會カラ大臣モ出ラレタト云フコトカラ、個人ノ資格デアリマスケレドモ、併シ會友デアラレル所カラ、ソレラノ人ガ斯様ナ批難ヲ大ヘン心配シテ、或ハ研究會ノ模様ヲ政府ノ方面ニ報導スル人モアリマセウ、又政府ノ情勢ヲ會ノ方ニ傳ヘルト云フ人ガアルカモ知レマ

セヌケレドモ、會ト致シマシテハ前申上デ
マシタ通り、私ノ方ニ於キマシテ擔當ノ部
會ノ決定モ致シテ居ラズ、總會ノ意思ノ決
定セラレテナイモノニ、研究會案ナルモノ
ガ存在シテ居ラヌコトハ十分御諒解ヲ願ヒ
タイ、而シテ昨初メテ午前ニ於テ擔當部
會ガ、常務委員ト特別委員ニ一任スルト云
フ、多少ノ條件ヲ付シテ一任スルト云フ議
決ニナリマシテ、午後ニ特別委員ト常務委
員ト會合イタシマシテ、ソレニ依ッテ何等
カノ案ヲ立テナケレバナラヌト云フノデ、
常務委員ト特別委員ノ間モ段々話ヲ凝ラシ
テ居リマシタ、其ノウチ總會ガ時刻ニナリ
マシタノデ、總會ニ臨ミマシタ所ガ、總會
ニ於テ常務委員ト特別委員ニ一任スル、斯
ウ云フヤウナ主義ヲ以テ一任スル、斯ウ云
フコトニナリマシタノデ、初メテ昨日夕刻
成案ガ出來マシタノデ、研究會ヲ代表シテ
私ト青木君ガ總理官邸ニ參ッタ、斯ウ云フ
次第ナンデアリマシテ、昨日ノ夕刻前ニ於
キマシテ、何等研究會ナルモノガ政府ト交
渉シタ事實モゴザイマセヌ、其事ヲ疏明イ
タシテ置キマス

○菅原通敬君 私モ多少ノ釋明ヲ申シテ置
カヌト云フト、阪本君初メ諸君ニ誤解ヲ招
クヤウナ虞レガアルカラ申上デテ置カウト
思ヒマス、一體今ノ阪本君ノ御尋ネニナル
コトハ、私共、少クトモ私ニ取リマシテハ、
私ガ個人トシテ何等カ爲シタルコトニ付テ
ノ御尋ネニ係ルノデアリマシテ、此場合ニ
於テソレニ關シテ御尋ネヲ受クルト云フコ
トモ、又ソレニ對シテ私ガ御答ヘスルト云
フコトモ如何ナモノデアアルカト思ヒマス
レドモ、委員長ガ此應答ヲ此席ニ於テ御認
メニナッテ居リマスカラ、私カラモ一應矢
張り申上デテ置ク方ガ便宜デアルト思ヒマ
ス故ニ申上グルノデアリマス、私ガ前田子

爵ト或意見ノ交換ヲシタト云フコトハ只今
前田子爵ガ御述ベニナッタ通り事實デアリ
マス、而シテ私ガ獨リ前田君ト意見ヲ御交換
申シタノミニ非ラズシテ、此特別委員ノ御
方ノ中ニハソレト意見ノ御交換ヲ申上デ
タ人ガマダ他ニモアルノデアリマス、吾々ガ
此特別委員會ニ於テ是等ノ問題ヲ審議イタ
シマシテ、公式ニ非公式ニ意見ノ交換ヲ致
スト云フコトハ是ハ私共ノ自由ノ事デア
テ、何等阪本委員カラ御咎メヲ受ケル理由
ハナイト思フノデアリマス、又私ハ政府ニ
モ知己ヲ持ッテ居リマス、政府ノ人方ニ對
シマシテモ此問題ハナカクムヅカシイ問
題デアアル、此問題ハ此儘デノ通過ト云フモ
ノハ或ハ困難デハナカラウカ、何等カ之ニ
對シテハ考慮セヌケレバナラヌモノデハナ
カラウカト云フヤウナ事ニ付テ話合ヲ致シ
タ事モアリマス、併ナガラソレハ勿論私個
人ノ關係ニ外ナラヌノデ私ノ所屬シテ居ル
所ノ同成會ノ意思デモナケレバ、固ヨリ此
特別委員會ノ意思デモナインデアリマシテ、
特別委員會ノ一部ノ意思ヲ、何等カ此問題
ヲ我物顔ヲシテ之ヲ政府ニ當タトカ云フ
ヤウニ御考ヘ下サルト云フコトハ迷惑千萬
デゴザイマス、ソレダケノ事ヲ申上デテ置
キマス

○男爵福原俊九君 大分皆サンカラ出マシ
タカラ、私モ新聞ニ出タ一人デアリマス
ラ簡單ニ申上デマス、公正會ノ關係ハ先程
池田君カラ御話ガアッテ何等サウニ云フコト
ハ御答スルコトモアリマセヌガ、一體私ハ
貴族院議員トシテ自分ガ盡サナケレバナラ
ヌト考ヘル場合、モウ一ツ申シマスレバ日
本帝國國民トシテ正義人道ノ爲ニ、日本國
民ノ實生活ヲ向上サセル上ニ於テ、殊ニ私
ハ精神的ニ向上セシムル上ニ於テハ一層強
ク感ジテ居ッテ、其爲ニハ時ヲ選バズ、場所

ヲ選バズ、人ヲ選バズ、何處ニ於テモヤ
テ居ルノデアリマス、デアリマスカラ殊ニ
今回自分トシテ恐縮ニ思ヒマスノハ、夜半
某研究會ノ人ヲ御訪ネシタト云フコトガ新
聞デ大分書カレテ恐縮シテ居リマスガ、是
ハ成ルベク新聞ニ分ラナイヤウニ行ク積リ
デアッタガ、却ッテ誤解ヲ受ケルコトニナ
タノデアリマス、併シソレハ私ハ此問題ニ
付テノ所信ヲ述ベニ行クノデハナク、決シ
テ政府ニ妥協スル所ノ妥協條件ヲ述ベルト
カ云フコトハシナイ、之ニ付テ彼是レト云
フコトハ自分ハ此問題ハ今日刻下ノ思想問
題ニ非常ニ關係ヲ持ッテ居リマスカラ、自
分トシテハ貴族院議員トシテ、殊ニ特別委
員トシテ時ヲ選バズ、場所ヲ選バズ、出テ
行クヤウナ譯デアリマス、是ハ私ハ議員
トシテバカリデナシニ社會ノ一員トシテ、
私ノ始終ヤッテ居ルコトデアリマスカラ、之
ヲ新聞デ色々ニ想像的ニ書クノデ非常ニ迷
惑シテ居ルノデアリマス、是ダケハ此際申
上デテ置キマス

○阪本彰之助君 唯今御釋明ヲ煩ハシテ恐
縮デアリマスガ、新聞紙ガ書クコトハ仕方
ガナイト云ウコトモ、是ハ私共ソレ位ノ事
ハ了解イタシテ居リマスガ、前日來二三ノ
御方ノ御名前ガ出マシテ、ソレハ政府……
政府ト申シマシテモ一部分デアリマスガ、
政府者ト御交渉ニナッテ斯ノ事ヲ御提出
ニナッテ、斯ノ話ガアッテ、斯ウナッタト
云フコトハ無論新聞社ノ想像デアルト仰シ
ヤイマセウケレドモ、サウ云フコトガ出マ
スルコトガ果シテ御迷惑デアラナラバ、何
トカサウデナイト云フコトヲ明カニナサル
義務ガアルノデアリマスマイカ、昨日ニ
至ッテ始メテ研究會ガ總會ヲ開イテ、斯
ニシテ政府ニ交渉シタノハ始メデアアル、
研究會ナルモノハ……研究會ニ限リマセヌ

ガ、何レノ會派デモ左様デアリマセウガ、
私モ嘗テハ研究會ノ御厄介ニナッタ一人デ
能ク存ジテ居リマスガ、誠ニ規則正シク總
會ヲ開キ、部會ヲ開イテ御決シニナル、昨
日ノ會ハ或ハ、最早特別委員會ガ段々切迫
シテ居ルカラ研究會ノ態度ヲ決メル爲ニオ
ヤリニナッタノデアルト云フコトハ言ヒ得
ルデセウガ、ソレガ如何ニモ前日來ノト繼
續シテ居ル、中斷ハシテ居ルガ元ハ……唯
今御說明ニナッタ、名前ガ出マシタカラ其
儘申上デテ宜イデアリマスガ、前田子爵ア
タリノ御案ガ基礎ニナッテ御ヤリニナッテ居
ルヤウニ見エル、基礎ニナッテ居ラナイト
言ハレマセウガ、ソコ等ノ特別委員會ノ關
係及ビ世間ノ耳目ト云フモノヲ誤ラレナイ
ヤウニ爲サツテ下サル御途ガアリサウニ思
ヒマス、或ハ其邊ノ事ハドウモハッキリシ
テ居ラヌ、而シテ研究會ト云フモノノ幹部
ノ御方ガ、總理大臣ニ御會ヒニナッタノハ
始メデアルト仰シヤラレマスガ、實ハ是ハ
疑フト申シテハ失禮デアリマスケレドモサ
ウ云フモノデアッタカドウカ、ソレマデハ
サウスルト云フト只今ノ御釋明ニ依リマス
ト政府ノ人トハ何等御交渉ガナカッタ、ソ
レヲ新聞デ捏造シテ書イテ居ルノデアリマ
スカ、或ハ唯某子爵、某議員ト云フ者ガ一
個ノ友人的ニ御話ニナッタコトハアッタノデ
アリマスガ、アッタシテモ是ハ決シテ特
別委員會ニ代表シタモノデハナイ、勿論サ
ウデアリマセウ、特別委員會ヲ代表シタト
云フコトハ新聞ニモ書イデアリマセヌガ、
形ノ上カラ申シマスルト特別委員會ノ有力
ナル御方々ガ特別委員會ノ眞最中、若クハ
討論ニ入ラントスル際ニ豫ネテ希望シテ居
ル談話會ガマダ開カレナイ際ニ、談話會ヲ
開イテ居レバマダシモデアリマスガ、談話
會ノ開カレナイウチニ自己ノ意見ヲ提ゲテ

政府者ト御交渉ニナルト云フコトハ、或ハ失禮ナガラ不謹慎ノ御態度デハナカラウカト云フコトヲ遺憾ト思フノデアリマス、只今伺ヒマシタコトニ付テ尙ホ阪本ノ疑ヲ解キ又世間ノ疑惑ト云フモノヲ……是ハ世間ノ人デモ相當ニ私共ト同ジヤウニ考ヘテ居ルモノガアルヤウニ思ヒマスカラ此際一ツ其邊ヲ明カニシテ戴キタイト云フコトノ爲ニ、一刻時間ヲ費シテ私ノ御尋ネヌスルノハソコニアルノデアリマスカラ、宜シク明瞭ニ一ツ爲サデ戴キタイト云フコトヲ希望致シマス

○子爵前田利定君 唯今申述べマシタ通り阪本君ハ元研究會ニ居ラレマシタノ御承知ノ事デアラウト思ヒマスガ、研究會モ昔カラ致シマシテ研究會ノ總會ノ決議ト云フモノガ、總會ガ研究會ノ意思ニナリマス、其以前ハ研究會ノ意思ナルモノハ存在シテ居ラヌノデアリマス、デアリマスカラ前申シマシタ通りニ、研究會デハ色々ソレノ政黨ニ知己ヲ持テ居ル方ガアルノデアリマスカラ、ソレ等ノ方ニハ所謂個人ノ自由ノ政治的行動トシテ會ヲソツテ方ヘ持テ行カウ、斯ウ云フ所カラ動カサレル方ガ……動かカ方ガ少クナイ、是ハ何モ議會ノ開會中ハカリデゴザイマセヌ、議會ノ開會中デモ能ク政治的行動ヲ爲サル方ガアルノデアリマス、併ナガラソレハ個人ノ御行動デアリカラ我ニ何トモ申シテ居ラナイノデアリマス、私ハ不精ノ人間デアリマスカラ、何等議會ノ開會中ナドニ策動シタコトハアリマセヌケレドモ、策動好キノ御方ハ自分ノ立場デ、個人ノ資格デ御動きニナツテ居ル譯デアリマス、是ハドウモ止メサセルト云フ譯ニハ是ハ行カヌモノデ、苟モ研究會ヲ代表シナイ限ニ於テ、個人ノ資格デ御動きニナル者ハ是ハ拘束スル譯ニハ行カナイ

ノデアリマス、況ヤ開會中ニハソレト身最負カラシテ、ソツテ方ニ引連ラレテ引張り込ムト云フコトカラシテ、ソレト御動きニナルト云フコトハ是ハドウモ御承知ノ次第デアリマス、併シ是ハ申シマシタ通りニ研究會ヲ代表シテ居ルト云フコトハアリマセヌケレドモ、研究會ノ案ナルモノハソレ迄ニ出テ居ル譯デハナイ、唯今何カ私ノ考ヘトツタコトヲ新聞ニ案件ノ如クニシテ掲ゲラレテアル、ソノモノガ何カ基礎トナツテソレヲ持廻テ居ルヤウニ御推定ニナリマシタガ、實ハ私ハ特別ノ委員相互ノ間ニ於キマシテ、研究會出身ノ特別委員相互ノ間ニ於キマシテモ、又會ノ常務員ニ對シマシテモ別段意見ノ交換ヲシタコトハ無い、林伯爵モ御承知ノ如ク、何カ特別委員トシテノ話合ヲシヤウデヤナイカトハ申シテハ居リマシタガ、其機會ヲ得マセヌデ居タノデ、昨日顔合セガ出來マシテソレカラ進ミマシテ研究會ノ意志ガ定タ、斯ウ云フヤウナ次第デアリマス、仰セマデモ無ク、或ハ阪本君ノ仰セラレタ如ク特別委員會ノ懇談會モ濟ミ、又特別委員會ニ於テノ各員ノ御話合ナドモ伺ツタ上デ、所屬ノ團體ノ意志ヲ決定スルト云フ方ガ或ハ順序トシテ宜カッタカモ知レマセヌケレドモ、何分ニモ銀行ノ破綻ガ續々ト出テ來ルヤウナコトデモアリ、何トカ早ク決定シナケレバナラヌ、殊ニ申上ゲルマデモ無ク研究會モ大勢ノ人ヲ包容スル團體デアリマスルカラシテ、ナカナカチヨクヲチヨイトサウ云フ意思ヲ纏メルコトハ困難デアリマス、幸ヒニ昨日ハ祭日ノコトデモアルノデ、一日討議シテモ時間ノ有ル日デ、他ノ日デハ到底サウ云フ長イ討論ノ時間ヲ有スル日ガ無いノデアリマシタノデ、昨日會ヲ開キマシタヤウナ次第デ、或ハ阪本君ノ仰セニナツヤウナ

方ガ順序トシテ宜カッタカモ知レマセヌケレドモ、併シ決シテ他意アル譯デハナイ、左様ナ次第總會ノ意志ガ定マリマシタ以上ハ、チャント先例モアル話デ、研究會デ案ガ定マツ場合ニハ研究會カラ各派ニ御交渉ヲ申上ゲル、或ハ茶話會ノ方デ重要問題ニ付テ御意見ガアレバ、茶話會ノ方カラ持テ來ラレルコトガアル、又同成會、交友俱樂部其他ノ各派ノ間デ誘フコトモアリ誘ハレルコトモアリ、是ハ各派ノ間デ例ガアルコトデ、研究會ハ今申上ゲタヤウナコトデ、或ハ阪本君ノ仰セノヤウニシタ方ガ御氣ニ召シタカモ知レマセヌデアリマシタガ、事實定タコトデアリマス故ニ研究會カラソレト御話合ヲ御進メ申上ゲル、斯ウ云フ次第ニナツ譯デアリマス、事實ノ儘ニ申上ゲテソレデモ御諒解ヲ得ナケレバ致方ガ無い話デアリマス

○阪本君之助君 唯今迄ノ御釋明ヲ搔摘ンデ申シマスルト、前田案トカ菅原案トカ云フモノハ、眞ニ一己ノ資格デ政府ト話シタコトハアル、ケレドモ、是ハ昨日研究會ノ決定案ナドノ基礎ニハナツテ居ラヌノデアリマス、斯ウ云フノデアリマスガ、昨日初メテ研究會ヘ出マシタモノガ、御決定ニナツタモノハイツモノノ如ク研究會トシテ御研究デアッデ、是亦貴君方ニ豫テノ案ト云フモノガ若シアルト云フナラバ、ソレヲ基礎トナサツタモノデ無いト御諒解シテ宜イノデアリマスガ、果シテ然ラバ新聞ハ非常ナ誤リヲ傳ヘテ居ル、誤リヲ傳ヘテ居ルノ御默認ニナルト云フノハ少シドウデアリマセウカ、是等ハナカナカ重大ナ問題デアリマスカラ、是等ハ御正シニナツテ宜シカラウト思ヒマス

○子爵前田利定君 實ハ御發言ニ申上ゲタカタノデアリマス、私ガ最初申上ゲマシタ通り菅原君ト御話申上ゲタコトハ、文體ヲ成シタル書キ物ヲ以テシタコトハアリマセヌ又、從ヒマシテ新聞ニ掲載サレテアリマス所謂前田菅原案ハ、私ノ考ヘテ居ルノト違テ居ルノデアリマス、而シテ又私ハ斷ジテ政府ニ自分ノ私案ヲ以テ交渉シタコトハナイ、ソナ馬鹿ナコトハ致シマセヌ、ソレカラ研究會ノ方デ個人ガ政治的ノ自由行動ノ上ニ於キマシテ、夫ニ泳ギ廻テ居ルモノハアルダラウト云フコトヲ申上ゲテ居ル、ソレハ私ノ案ヲ提ゲテ廻テハ居ラヌト思ヒマス、何トナレバ私ノ案ヲ示シタコトガナイノデアリマスカラ、夫ニ自分ノ考デ以テ此邊デ此重大問題ヲ取付ケヤウ、斯ウ云フ各自ノ御考ヘノ下ニ或ハ政府ノ方ニ行キ或ハ會ノ會員ノ人ニ就テ意思ノ疎通ヲ計リ、コンナ所デドウダラウト云フ御話ヲナサツタコトガアルカモ知レマシテ居ル、是ハ先モ申上ゲマシタ通り會ノ看板ヲ掲ゲテ、個人ノ政治的自由行動ヲ拘束スルト云フコトハ御互ニ出來ナイコトデアラウト私ハ思フ、左様ナ次第デアリマスカラ、研究會員ガ或ハ政府ノ方ニ參リ或ハ又會員ノ方ニ色々御話ニ參ツヤウナコトハソレハアルカモ知レマセヌケレドモ、所謂前田菅原案ナルモノヲ持テ廻ハラレタト云フコトハ、私ハナイト思フ、大概ソレデ御諒解ニナツタラウト思ヒマス

○阪本君之助君 御答ハ洵ニ明瞭デアリマスルガ、果シテ然ラバ其御名前ヲ用キラレタ所ノ御方ノ御迷惑ハ非常ナモノデアアル、又是ガ特別委員會ノ威信ニモ關係スルコトデアリマスガ、別ニ新聞ニ御取消シニナルト云フコトモナク、ドウモ新聞ハ嘘ヲ書クモノト御考ヘニナルト云フ御話デアリマセウカ

○子爵前田利定君 御答ヘ申ス程ノコトデモナイデセウガ、新聞ニ出テ居ルコトヲア

レハ迷惑是ハ迷惑ト云テ居テハ夜モ日モ足ラヌダラウト思ヒマス、何モ特別委員ノ名譽ヲ毀損シタト思フテ居ラス、寧ロ私等ノ名譽ヲ毀損シタト考ヘマス、左様ナコトヲ氣ニ懸ケマシテハ政治家タル譯ニイカヌト思フ、私ハドウモ近頃ノ新聞ハ斬捨御免デ甚ダ無謀ナモノダト思フテ諦メルヨリ仕方ガ無イ

○阪本鈺之助君 ソコマデ承ハレバ宜イ

○菅原通敬君 先刻申上ダタ通りデアリマシテ、私モ前田子爵ト同ジヤウニ、自分ガ文書ヲ作りマシテソレニ依テ政府ニ交渉シタト云フヤウナコトハ絕對ニアリマセヌカラ、ソレハ御承知ヲ願ヒタイ

○阪本鈺之助君 私ハモウ是デ宜シウゴザイマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 石塚君ハ懇談會ニ付テ御説ガアルヤウデアリマス

○石塚英藏君 只今ノ御問答ハソレデ濟ンダヤウデスカラ、是デ豫テノ豫定ノ順序ニナッテ居リマスカラ、速記ヲ抜イテ：政府委員抜キノ委員ダケノ懇談會ヲ致シタイ

○委員長(伯爵林博太郎君) 石塚君ニ伺ヒマスガ政府委員ダケデ宜シウゴザイマス

○特別委員ダケノ懇談會ニシマスカ

○石塚英藏君 特別委員ダケノ懇談會ニシマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 御異議ゴザイマセヌケレバ懇談會ニ致シマス、速記ヲ止メマス

午後二時十八分懇談會ニ移ル

午後三時二十六分懇談會ヲ終ル

○委員長(伯爵林博太郎君) 速記ヲ開始イタシマス、最早質問モ盡キテ：此前置問

打切リト云フヤウナコトニ大體ナッテ居マスノデ、此際此震災手形損失補償公債法案外一件ニ付キマシテ討論ニ移リタイト考ヘ

マス、討論ニ移ルト云フコトニ付テ御異議ノナイ方ノ起立ヲ願ヒマス

議員起立

○委員長(伯爵林博太郎君) 全會一致デゴザイマス、是ヨリ討論ニ進入リマス

○國務大臣(片岡直溫君) 本案ハ既ニ質問モ終了シマシテ御決議ノ際デアリマスガ、極メテ重要ノ案デアリマスルカラ、此際一言ヲ致シタイト存ジマスル、震災手形善後處理法制定ノ趣意ハ震災手形所持銀行全部ノ地位ヲ鞏固ニスルニアリマススケレドモ、特ニ臺灣銀行ノ爲ニ絕對ニ必要デアリマスカラ、其理由ヲ一應辯明イタシマス、御承知ノ通り臺灣銀行ハ世界大戰當時營業ガ非常ニ膨脹シ貸出金額モ大イニ増加シタノデアリマス、然ルニ財界ノ反動期ニ入ッテ各種ノ企業及商業ガ衰頹シ始メマスルト、是等ノ關係者ニ對スル貸出ハ其取立ノ途ヲ失ヒ遂ニ多額ノ停滯ヲ生ジタノデアリマス、加之大正十二年ノ關東大震災ニ依リ貸金回收ノ困難ヲ感ズルモノガ續出シテ却テ多額ノ貸出ヲシナケレバナライ事情ニナリマシテ、其業態ハ愈益困難ヲ加フルニ至タノデアリマス、茲ニ於テ大正十四年九月同行ノ整理ヲ行フコトナリマシタ次第デアリマス、然ルニ一方同行ノ保有シテ居ル資産ノ換貨處分即チ價ヲ、價格ヲ斯ウ換ヘテ處分スル換貨處分ナドガ經濟界ノ不景氣持續ニ依リマシテ適當ニ行フコトヲ得ザル關係ガアリ、又他方巨額ノ借入金ガアル狀態デアリマスカラ、臺灣銀行ヲシテ全線リニ至大ノ困難ヲ感ズルニ至リマシタ故ニ、若シ震災手形處理法案ガ御協賛ヲ得ナイト云フコトニ相成リマスレバ、臺灣銀行ノ經營ハ更ニ困難ヲ加フルコトト相成リマス、換言スレバ、震災手形善後處理法案ノ成立ハ臺灣銀行ノ爲ニ絕對ニ必要デアルコトヲ

御諒承ヲ願ヒタイト思フデアリマス

○子爵前田利定君 唯今大藏大臣カラ臺灣銀行ニ關スル經濟情勢ニ付キマシテ御述ベニナリマシタガ、其點ニ付キマシテハ、丁度幸ヒ總理大臣モ御臨席デアリマスルガ、總理大臣ニ於ケレマシテモ唯今大藏大臣ノ御説明ニ付キマシテハ御同意デアルコトハ疑フ容レヌコトダト思ヒマスガ、念ノ爲ニ幸ヒ御臨席デアリマスカラ御意見ヲ伺ヒマス

○國務大臣(若槻禮次郎君) 唯今大藏大臣ヨリ申上ゲマシタコトハ私モ全然同ジ考デアリマス、政府ノ見ル所ガ斯ノ如シト云フヤウニ御覽下サルヤウニ願ヒマス

○子爵前田利定君 了承シマシタ

○男爵阪谷芳郎君 唯今大藏大臣ノ御述ベニナリマシタコトト、衆議院以來又貴族院ニ於テモ屢、大藏大臣ナリ政府委員ナリカラ御述ベニナリマシタコトト多少違ヒマシヤウニ考ヘラレマスガ、特殊銀行ニ付テハ政府ハ震災手形補償法案：震災手形善後處理法案ノ方ハ餘リ重キヲ置カナイデ、普通銀行ノ爲ニ極メテ必要デアルト云フヤウニ本員ハ了承イタシテ居リマシタノデスカ、或ハ本員ノ間違ヒデアツタカモ知レマセヌガ、多少説明ノ趣旨ヲ訂正ニナツタモノト承知イタシマシテ宜シウゴザイマセウカ

○國務大臣(片岡直溫君) 或ハ是迄ノ私ノ説明ガ足ラナカッタカモ知レマセヌガ、此震災手形處理法案即チ其震災手形ト云フモノガ融通力ヲ有シテ來ルト云フ見込ノ下ニ整理其モノガ付ケテ來テアルノデアリマス、ソレ故ニ今迄申上ゲタコトト若シ不十分デアリ徹底ヲ缺クコトニナリマシテハ大變ナコトト存ジマシテ、特ニ申上ゲタ次第デアリマス、要スルニ結局ハ御尋ノ通りノ次第デアリマス

○男爵福原俊九君 尙ホ我々ノ了解ヲ十分ニスル爲ニ御尋ネ致シテ置キタイノハ、大正十二年ノ八月ニ臺灣朝鮮兩銀行ノ整理ニ關スル聲明ヲ大藏省デ御發表ニナツタ、サウスルト更ニ、今回モ何等カノ機會ニ大藏トシテハ足ラザル所ヲ補フ爲ニ何等カ御發表ヲサレル譯デアリマスカ

○國務大臣(片岡直溫君) 是ハ餘程以前ニ整理ヲ付ケマシテ、今前段申上ゲマシタヤウナ狀態デアリマスガ爲ニ、大正十四年九月ニ同行ノ整理方法ヲ樹テタノデアリマス、其整理方法ヲ樹テマシタ所ノモノハ所謂震災手形其モノハ損失ニナラナイ、即チ運用ノ出來テ來ルモノトシテノ整理案ヲ樹テタノデアリマス

○男爵福原俊九君 實ハ私ハサウ云フコトニモ寧ロ矢張り國民ヲシテ能ク了解サセル爲ニハ、前ニ大藏省デ矢張り整理ニ對シテ御聲明ガアツタガ、ソレハ何等告示スル所ナクシテ其儘ニ置カレルノデアルカ、其點ハドンナ御考デアルカ、別ニ今御考ヘニナッテ居ラナケレバソレデ宜シイノデ、唯自分ノ了解スル爲ニ伺ッタノデアリマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 福原男爵ニ申上ゲマスガ、唯今討論ニ入ッテ居ルノデアリマシテ、質問ハ打切テ居ルノデアリマスカラ成ルベク一ツ討論ノ形式デーツドウ御發言ヲ願ヒマス

○子爵前田利定君 意見ノ陳述ヲ致シテ宜シウゴザイマス

○委員長(伯爵林博太郎君) ドウゾ：

○子爵前田利定君 本員ハ是マデ此特別委員會ニ於キマシテ、政府ノ御説明デハ實ニ臺灣銀行所持ノ震災手形ニ對シマスル所謂國民ノ疑惑ト云フモノニ付キマシテ、本員モ釋然ト致シテ居ラナカッタノデアリマス、

如何ニモ此兩法案自體ト致シマシテハ、震災手形ノ跡始末ヲ併セテ財界ノ安定ヲ期スル上ニ於キマシテハ、緊急缺クベカラザル法案デアッテ、直チニ御賛成申上ゲナケレバナラヌ次第ト考ヘテ居リマスガ、一面ニ於キマシテ、如何ニモ臺灣銀行所持ノ震災手形ニ關シマシテ民間ノ色ノ批評ノ聲、其批評ノ聲モ全ク無理カラナイヤウナ事情ニ銀行ト振出人トノ間ノ關係ガナッテ居リマスノデ、此疑惑ヲ其儘ニシテ解キ得マセヌデ、我々貴族院議員ト致シマシテ、直チニ此法案ノ目的ガ宜イカラト云フテ御賛成申スコトニ付キマシテハ甚ダ躊躇シテ居タ次第デアリマス、而シテ今日迄ノ大藏大臣並ニ政府委員ノ御説明デハ十分ニ其點ニ付キマシテ了解スルコトガ得マセヌ、故ニ本員等ハ國民ノ疑惑ノ中心トナッテ居ル所ノ臺灣銀行其モノニ付テハ是迄ノ大臣ノ御説明ニ依リマススト云フト、一應整理方針ガ樹テラレテ、尤モ此補償法案救ハルベキ所ノ手形ノコトニ付テハ考慮ノ中ニ入レテ整理ヲ樹テタケレドモ、此處理法案ノコトニ付テハ其當時考ヘテ居ラナカッタコトデアルカラ、處理法案ガ通過スレバ、ソレダケ臺灣銀行ノ整理ヲ完成スル上ニ付テハ好都合デハアル、好都合デハアルガ、併シ臺灣銀行其モノニ付テハ既ニ整理方針ガ樹テ居ルカラシテ、步ンデハ行カレルヤウナ御説明、又次ニハ此兩案ガ通レバ臺灣銀行其モノニ付テハ別段ニ整理スル必要ハナイカノヤウナ御説明ニ接シテ居リマシタガ故ニ、我々ハ一層國民ノ疑問トナッテ居リマス所ノ特種銀行ニ處理法案ト云フモノハ適用シナイガ、臺灣銀行其モノノ整理ハ細ミナガラ樹ツ見込ガアルト云フヤウナ御説明ニ信賴シマシテ、實ハ處理法案ハ何トカ手ヲ入レルベキモノデヤナカラウト云フヤウナ

考ヲ致シテ居ッタノデアリマスガ、唯今大藏大臣カラ從來ノ特別委員會ニ於テノ御説明ヲ御訂正ニナッタカノヤウナ御説明ニ接シマスルシ、又總理大臣モ大藏大臣ノ所謂訂正言明ニ對シマシテ裏書ヲサレタ次第デ、政府ハ此臺灣銀行ト云フモノニ付テハ此二法案ガ働キ掛ケナケレバ其歩ミガ出來得ナイ、ドウシテモ臺灣銀行其モノヲ歩マシテ行クニハ此二法案ガ必要デアッテ、而モ一ツヲ缺イテハ歩ンデ行クコトガ出來ナイト、斯様ニ臺灣銀行ニ付テノ御説明ヲ御話シ下サッタ以上、我々ハ國家ノ爲ニ極メテ重要ナ所ノ臺灣銀行ヲ見殺シニスルト云フコトハ、國際信用ノ上カラ申シマシテモ、又臺灣銀行ニ關係ヲ有ッテ居リマス所ノ銀行個人ノ關係ニ於キマシテモ、是ハ何トカ立行クヤウニシテ參ラナケレバナラナイト云フ意味ニ於キマシテ、已ムヲ得ズ此兩法案ノ通過ニ付キマシテハ贊意ヲ表スル次第デアリマス、次第デアリマスガ、多クノ國民ヲシテ此臺灣銀行ニ懸カッテ居リマス所ノ疑惑ヲ氷解サセマス爲ニ、私ハ此兩法案ヲ贊成イタスト共ニ附帶ノ希望ヲ申添ヘタイト思フノデアリマス

附帶決議

一 震災手形損失補償法並震災手形善後處理法ノ運用ニ付テハ審查委員會ヲ設ケ嚴正公平ナル審査ヲ遂クルコトニ政府カ震災手形善後處理法ノ成立ハ震災手形ノ所持銀行全部ノ地位ヲ鞏固ニスルニアルモ殊ニ臺灣銀行ノ爲メ絕對ニ必要ナリトノ言明ニ信賴シ此際不得已處置トシテ之レヲ承認スルノ外ナキモ政府ハ速ニ調査委員會ヲ設ケ更ニ同行ノ鞏固ナル基礎ヲ樹立スルカ爲メ適切ナル方案ヲ立テ帝國議會ノ協賛ヲ經ヘキモノハ其ノ措置ヲ執ルコト右方案成立

シ之レカ實行セララルル場合ニ於テハ政府ハ同行ニ對スル震災手形善後處理法ニ依リ貸付金ヲ回收スルコト前三項ノ委員會ノ委員ニハ貴衆兩院議員ヲ加フルコト

此三ツノ附帶イタシマスル希望決議ヲ附ケマシテ本員ハ二法案ニ賛成スル次第デアリマス、尙ホ此附帶決議ニ付キマシテ、一應極ク簡略デアリマスガ、趣旨ヲ念メ爲メ申添ヘマス、第一ノ震災手形損失補償法並ニ震災手形善後處理法案ノ運用ニ付テノ審查委員會ノ設置ハ既ニ是ハ政府ノ方ニ於テモ其御腹案ガアルノデアリマシテ、政府ノ御考ト是ハ一致シテ居ル事柄デアアルノデアリマスガ、特ニ御注意願ヒタイコトハ嚴正公平ナル審査ヲ遂ゲテ戴キタイ、過日來特別委員會ノ質疑應答ノ間ニ窺ヒ知リマシタコトハ、日銀ノ損失ニナルベキ所ノ手形、其手形ニ付テモ之ヲ不能ノ手形ナリヤ、或ハ又支拂能力ノアル手形ナリヤ、即チ日銀ノ損失ニ歸セシムベキ手形ナリヤ否ヤノ審査モ、此審查委員會ニ諮ルト云フコトデアリス、尙又十箇年賦以内ノ年賦デ以テ貸付ケル公債ノコトニ付テモ、此審查委員會ヲ以テ其可否ヲ決セラレルト云フ、所謂手形補償並ニ貸付ニ付テハ此委員會ト云フモノガ其鍵ヲ握ッテ居ルヤウナ地位ニ立ツノデアリマスカラ、無論御腹案ニアルコトデアリマスルガ、十分ニ此嚴正公平ナル監査力行ハレルヤウニ努力シテ戴キタイト云フノガ、此第一ノ附帶決議デアリマス、第二ハ政府ガ此震災手形善後處理法ノ成立ハ臺灣銀行ノ爲メ絕對必要デアラレルト云フ所ノ言明ニ我々ハ信賴イタシマシテ、實ハ此法案ノ方法デナク、他ノ方法デ直チニ臺灣銀行ノ整理ニ付テハ根本的ノ整理ヲ願ヒタイ、斯様ニ考ヘテ居リマスルケレドモ、唯今即刻ニ

他ノ良好ナル整理方法ヲ御樹テニナルヤウニト申出テ見マシテモ、ソレハ政府ニ無理ナルコトヲ強要スルニ過ギナイコトデアリマスルカラ、暫ク此政府ノ言明ニ信賴イタシマシテ、此際ハ已ムヲ得ナイ處置ト致シマシテ之ヲ御認メマスル外ハナイト考ヘマスガ、政府ハ速ニ調査委員會ヲ設ケラレマシテ、臺灣銀行ノ其禍根ノ存スル所、又同行ノ經營ノ甚ダ舉ラザル點、其點ハ何處ニ其病根ガアルヤ、何處ニ其業績ノ舉ラナイ所ハ原因スル所ガアルヤ、ソレヲ深刻ニ一ツ御調査ニナッテ、公正ニ此銀行ナルモノノ御調ヲ爲サッテ、サウシテ其調査ノ上ニ築カレタ所ノ整理方針ヲ御樹テニナッテ、此臺灣銀行ガ將來拓殖銀行タル所ノ機能ヲ十分ニ發揮シ得ラルルヤウニ、而シテ一方ニ於テハ、財界ニ於テ誠ニ此厄介デアアル所ノ銀行ガ獨立獨歩ノ出來マスヤウニ、十分ナル所ノ方策ヲ樹テラレンコトヲ希望スル次第デアリマシテ、其整理計畫ノ事柄ニ付テ、帝國議會ノ協賛ヲ經ベキモノハ帝國議會ノ協賛ヲ經テ其處置ヲ執ラルルヤウニ爲サレタイ、斯様ナル希望ヲ申ス次第デアリマス、決シテ政府ニ對シテ敢ヘテ信任ヲシナイト云フ次第デアリマスレドモ、臺灣銀行ノ内部ノ調査ニ付テハ最モ公正ナルコトヲ要シ、又同行ノ整理計畫ニ付テハ十分ニ確立スル所ノ方策ヲ御樹テニナッテ而モ帝國議會ノ前ニ協賛ヲ經ベキ事柄ハ披瀝サレテ、サウシテ公明ナル途ニ依ッテ樹テラレンコトヲ希望スル次第デアリマス、而シテ同行ニ對スル所ノ整理方針ガ愈々實行セラレルト云フ場合ニナリマシテハ、其處理法案ヲ以テ貸付ケラレル所ノ公債ハ直ニ回收ヲ爲サッテ、新ニ樹テラレタル所ノ整理方針ニ依ッテ、助クベキハ助クル、又貸付ケベキハ貸付ケル、又新ナル所ノ計畫ニ依ッテ歩マレ

テ行カレルヤウニシテ、此處理法案ニ依ル所ノ貸付ハ其際直ニ回收セラレタイト云フノガ、第二ノ希望デアルノデアリマス、即チ我々ハ此處理法案ニ依テ臺灣銀行ヲ救済スルト云フコトハ元々本旨デナイノデアリマス、ナインデアリマスルガ、是ナクンバ同銀行ハ歩ンデ行カレナイト、斯ウ云フ誠ニ絶對ノ必要ヲ認メルガ故ニ、暫ク此處理法案ヲ同行ニ對シテ適用スルコトヲ御認メ申ス次第デアリマスガ、特ニ整理方針ヲ確立セラレマシタ場合ニ於キマシテハ、其計畫ニ依テ措置ヲ執ラレルヤウニ致サレタイト云フノガ第二ノ希望デアルノデアリマス、而シテ前二項ノ委員會ノ委員ニハ政府ノ方ノ御腹案デハ特別委員會デソレト承ハッテ居リマスルガ、尙ホ貴衆兩院ノ議員ヲ加ヘテ戴キタイト云フコトデアリマス、

是ハ申上ゲル迄モナク、貴衆兩院ノ議員ト云フモノハ、或ル意味ニ於キマシテハ所謂國民ノ代表ノ意義ヲ持ッテ居リマスルモノデアリマスカラ、即チ貴衆兩院議員ガ加ハリマスルト云フコトハ、國民ガ是等ノ調査會ノ委員トシテ調査上ニ參加フスルト云フ意義ガ茲ニ表明セラレル次第デアリマスルガ故ニ、是非トモ此貴衆兩院議員ヲ加ヘラレンコトヲ第三ノ希望トシテ附帶スル所デアアルノデアリマス、本案ノ賛成意見ニ付キマシテハ、別ニ詳細ニ演述イタシマスル機會ガアラウカト考ヘマスカラ、此場合ニ於キマシテハ簡潔ニ本案賛成ノ理由ヲ申述ベマシテ、併セテ附帶希望ヲ決議トシテ附加ヘル次第デアリマス、何卒他ノ委員諸君ニ於カレマシテモ、格別ノ御異存ノアラッシャラヌ限リニ於キマシテハ、何卒唯今ノ意見ニ御共鳴願ヒタイト思フ次第デアリマス

○石塚英藏君 前田子爵ニ御尋ネ致シマス、唯今ノ此希望決議附帶條件、ソレニ對シテドウ云フ方法カデ政府ノ所見ヲ確カメラレル考デアリマスカ、其點ヲ伺ヒマス

○子爵前田利定君 唯今ノ、本員ガ兩案ヲ賛成致シマスニ付キマシテ、希望意見ヲ申述ベマシタガ、之ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ヒタイト思フデアリマス

○國務大臣(片岡直温君) 唯今附帶決議トシテノ御希望ノ存スル所、御趣意ノ存スル所、御説明ヲ伺ヒテ見マスレバ、臺灣銀行ノ將來ノ爲ニ確實ナル基礎ヲ樹テルト云フ御趣旨ニアルト存ジマス、是ガ議院ヲ通過スルコトニハ、貴族院ヲ通過スルコトニナリマスレバ、政府トシテハ無論異議ハゴザイマセヌ、御同意ヲ申上ゲル積リデアリマス

○子爵前田利定君 甚ダ愚念デアリマスガ、總理大臣ニ於カレマシテモ、御所見ハ御同意デゴザイマスカ

○國務大臣(若槻禮次郎君) 前田子爵ノ御發議ニナリマシタ附帶決議ト云フコトガ若シ當委員會デ御認メニナリマスレバ、御趣旨ノアル所ハ政府ニ於テモ固ヨリ異存ハアリマセヌカラ、御同意ヲ申上ゲマス

○男爵阪谷芳郎君 前田子爵ニ御尋ネ致シマスルガ、目下政府ニ於テハ金融制度調査會ト云フモノガ設ケラレテ居リマシテ、既ニ日本銀行ナリ其他ノ諸銀行ニ付テ改正案ヲ調査シテ居ル筈デアリマス、自然今度出來マスル整理委員トハ、目的ヤ權限ハ違フコトデアリマスケレドモ、金融制度調査委員會トノ關係ハドウナリマスカ、ソレカラ第二ハ貴衆兩院ノ議員ヲ審査委員、若クハ調査委員ニ加ヘルト云フ御言葉デアリマシタガ、ソレハ選舉等ノ爲ニ資格ヲ失ハタ場合ニハ、當然本委員ヲ消滅セシムルヤウナ方法デモ設ケラレル御考デアリマスカ

○子爵前田利定君 前段ノ御問ニ對シマシテ御答ヘ致シマスガ、無論事柄自體ハ違フテ居リマスケレドモ、併矢張り此金融界ノコトニ精通練達セラレテ居ル人ハ、矢張り臺灣銀行ノ整理方針ヲ樹テル上ニ於テノ整理委員會ニハ、サウ云フヤウナ人材ヲ要スルコトデアラウト思ヒマスカラ、金融制度調査會ニ出ラレテ居ル委員ノ方モコチラノ委員ニナッテ戴クコトモ有リ得ル、又多ク有リ得ルコトダラウト思ヒマス、無論此金融制度調査會トハ密接ノ關係モアリ、又連絡スル關係モアラウト思ヒマスカラ、寧ロサウ云フコトガアッタ方が便宜デハナカラウカト思ヒマス、第二段ノコトハ國民ガ親シク整理計畫ニ參加スル、斯ウ云フコトニ意義アラシメタイト考ヘルノデアリマスカラ、議員ノ資格ガ無クナリマシタナラバ新ニ又簡拔セラレルト云フコトニ致シタイ、斯ウ思ウテ居リマス

○男爵阪谷芳郎君 本員ハ甚ダ今ムヅカシイ立場ニ居ルト云フコトヲ申上ゲルノデアリマス、此兩法案ニ付キマシテハ尙ホ十分ニ申述ベタイ點モアリマスシ、ソレカラ又今ノ臺灣銀行ガ此兩法案ノ主ナル目的ニナルト云フ政府ノ説明ノ變リマシタコトニ付キマシテハ、更ニ臺灣銀行ノコトニ付テ色色御尋ネシタリ、又其内容等ニ付テモ十分ニ意見ヲ述ベテ見タイ必要ガ茲ニ起ルノデアリマス、然ルニ一方金融界ノ狀況ヲ見マスト云フト、私ノ申述ベマス迄モナク、去ンヌル十七八日頃カラ東京都下ノ金融界ハ非常ニ不穩ナル狀態ヲ呈シテ、マア二流以下デハアリマスケレドモ、諸銀行ガ現ニ閉店シ、又續々取付ラレツ、アル、單リ東京都下ニ止マラズ或ハ埼玉縣其他ノ地方ニモ是ガ波及シツ、アルノデアリマス、デ現ニ私ガ多少財界ノコトニ携ハッテ居リマシタ

○男爵阪谷芳郎君 前段ノ御問ニ對シマシテ御答ヘ致シマスガ、無論事柄自體ハ違フテ居リマスケレドモ、併矢張り此金融界ノコトニ精通練達セラレテ居ル人ハ、矢張り臺灣銀行ノ整理方針ヲ樹テル上ニ於テノ整理委員會ニハ、サウ云フヤウナ人材ヲ要スルコトデアラウト思ヒマスカラ、金融制度調査會ニ出ラレテ居ル委員ノ方モコチラノ委員ニナッテ戴クコトモ有リ得ル、又多ク有リ得ルコトダラウト思ヒマス、無論此金融制度調査會トハ密接ノ關係モアリ、又連絡スル關係モアラウト思ヒマスカラ、寧ロサウ云フコトガアッタ方が便宜デハナカラウカト思ヒマス、第二段ノコトハ國民ガ親シク整理計畫ニ參加スル、斯ウ云フコトニ意義アラシメタイト考ヘルノデアリマスカラ、議員ノ資格ガ無クナリマシタナラバ新ニ又簡拔セラレルト云フコトニ致シタイ、斯ウ思ウテ居リマス

○男爵阪谷芳郎君 本員ハ甚ダ今ムヅカシイ立場ニ居ルト云フコトヲ申上ゲルノデアリマス、此兩法案ニ付キマシテハ尙ホ十分ニ申述ベタイ點モアリマスシ、ソレカラ又今ノ臺灣銀行ガ此兩法案ノ主ナル目的ニナルト云フ政府ノ説明ノ變リマシタコトニ付キマシテハ、更ニ臺灣銀行ノコトニ付テ色色御尋ネシタリ、又其内容等ニ付テモ十分ニ意見ヲ述ベテ見タイ必要ガ茲ニ起ルノデアリマス、然ルニ一方金融界ノ狀況ヲ見マスト云フト、私ノ申述ベマス迄モナク、去ンヌル十七八日頃カラ東京都下ノ金融界ハ非常ニ不穩ナル狀態ヲ呈シテ、マア二流以下デハアリマスケレドモ、諸銀行ガ現ニ閉店シ、又續々取付ラレツ、アル、單リ東京都下ニ止マラズ或ハ埼玉縣其他ノ地方ニモ是ガ波及シツ、アルノデアリマス、デ現ニ私ガ多少財界ノコトニ携ハッテ居リマシタ

關係カラデモアリマセウガ、色々ノ人ガ來テ、アノ銀行ハ宜イカ、此銀行ハ宜イカト尋ネラレマスガ、殆ド其人ノ平生ニ徹スレバサウ云フコトノ必要ノナイヤウナコトヲ言ハレル、又是ハ私ノ極ク知ットリマスル知識ノ低イ程度ノ人デアリマスケレドモ、銀行ト云フモノハ大變險毒ナモノデゴザイマスカト云フ問ヲ發スルト云フヤウナ狀況デアリマス、デ是ヲ見レバ……人ガ斯ウ云フコトヲ聞クト云フコトヲ以テ見ルト、餘程此財界ノ不穩ノ狀態ヲ呈シテ居ルノガ、恰モ「インフルエンザ」デモ流行スルヤウニ見エルト云フコトヲ大變私ハ心配スル、先刻モ本議場デ以テ藤村男爵ヨリ政府ニ向シテ極力救済ノコトヲ述ベラレマシタケレドモ、是ハ日本銀行ガ幾ラ救済スルト云フモノ、其不穩ノ狀況ガ蔓延シタ場合ニハ如何トモスルコトガ出來ナイ、之ニハ一步デモ早ク民心ノ靜マルヤウナ措置デモアレバ、ソレヲ執ッテ方ガ宜カラウト思フ、不幸ニシテ此震災手形ノ兩法案ト云フモノガ今民心ヲ不安ナラシメル大シタ目的物ニナッテ居ル、誠ニ是ハ我々ガ委員トシテ最も慎重ニ、最モユククリト議サナケレバナラヌ重要ナル法案デアリ、而シテ一方ニハ國民ガ甚シク此兩法案ニ付テ疑ヲ懷イテ居ル際デアリマスカラ、其點カラ言ヘバ十分二日ヲ延バシテデモ之ヲ議サナケレバナラヌ必要ヲ持ッテ居ル、而シテ一面ニ於テハ今臺灣銀行ノコトニ付テハ尙ホ本員ハ十分二回ハナケレバナラヌノデアリマス、甚ダ進退兩難ノ場合ニ本員ハ立ッテ居ルノデアリマス、ドチカラカ犠牲ニシナケレバナラヌ、ソレデ本員ハドウモ今日ニ於テハ先ヅ火ヲ消ス、火ヲ消シテ了ッテカラ後ニ是ハ失火デアツカ、付テ火デアツカト云フコトヲ調べナイト、家ガドンノ焼ケ擴ガシテハ到

底何ニモナラヌ、唯今ノ兩法案ノ問題ハマ
ア一億二億トカ云フ問題デアリマスケレド
モ、唯今ノ外ノ金融界ニ不穩ノ狀態ガ燒タ
擴ガテ行キマシタナラバ、更ニ數億ノ犧
牲ヲ拂ハナケレバナラヌト云フヤウニナ
テ誠ニ愚ノコトニナル、折角兩法案ガ通
過シタケレドモ、役ニ立タヌコトニナ
テ了フト云フヤウナ破目ニ陥ラヌトモ言ヘ
ナイ、甚ダ本員ハ進退兩難ニ苦ムデアリ
マス、併シ此處ニ於テハ火ヲ消ス、兎ニ角
火ヲ消スト云フ方ノ目的ニ進ムノガ、政治
家トシテモ、又議員トシテモ執ルベキ唯一
ノ途デアルト信ズルデアリマスカラ、兩
法案共ニ速ニ可決セラレンコトヲ希望スル
ノデアリマスガ、併シ政府ト致シマシテ
ハ、サウ云フ事情ノ下ニ本員等ハ賛成スル
ノデアリマスカラ、唯今ノ前田子爵ノ希望
條件モ宜シウゴザイマセウガ、其希望條件
ガアルト否トニ拘ラズ、此法案ノ實施ニ付
テハ十分ノ誠意ヲ披瀝シテ、寸毫モ無駄ノ
ナイヤウニ、國民ニ對シマシテハ十分ニ其
誠意ガ徹底スルヤウニ施行シテ戴キタイノ
デアリマス、若シ今日ノヤウナ進退兩難ニ
立ッテ居ラズ、又ユツクリ議スル場合デアリ
マスレバ本員ハ十分ニ又之ニ對シテ質問ヲ
シ、論ジタイコトモアリマスケレドモ、今
日ハ最モ成ルベク早く火ヲ消シタ方ガ宜シ
イト云フ意味ニ於キマシテ兩法案ニ賛成ヲ
致スノデアリマス

○菅原通敬君 私モ簡單ニ意見ヲ申述ベマ
ス、震災手形ノ跡始末ヲシテ財界ノ安定ヲ
保タシムル爲ニ、此兩案ノ成立スルコトハ
私ハ今日ノ財界ノ狀況ニ鑑ミマシテモ、一
刻モ早カラシコトヲ希望スルノデアリマ
ス、原案ニ賛成イタシマス、而シテ前田子
爵ノ御提出ニナリマシタ希望條件ハ、一ハ
震災手形ノ査定ニ付テ嚴正公平ニ之ヲ爲ス

ベシト云フコトデアリ、一ハ臺灣銀行ノ整
理ニ重キヲ置イテ、處理法案ノ公債貸付ト
云フコトハ、普通銀行ト之ヲ差別シ、別ノ
取扱ヲ爲サントスルノデアリマス、豫テ私
ノ考ヘテ居リマシタ所ト其趣旨ヲ同ジウス
ルノデアリマシテ、殊ニ又此希望條件ニ付
キマシテハ政府ニ於テモ御同意デアルト云
フコトデアリマスルカラ、此希望條件ニ付
キマシテモ全然御同意ヲ申シ、ソレヲ附帶
條件トシテ原案ニ賛成ヲ致シマス

○子爵福原俊九君 我ト同會派ノ阪谷男
爵カラ原案ニ賛成ノ御言葉ガアッタノデア
リマス、私モ此際矢張り已ムヲ得ズ周圍ノ
狀況ヨリ原案ニ賛成イタシマシテ、ソレニ
對スル附帶條件、前田子爵ヨリ御提出ノ附
帶條件ヲ賛成イタス一人デアリマス、併シ
些カ意見ヲ述ベテ其理由ヲ附加ヘテ置キタ
イト思ヒマス、此法案ハ極メテ重要ナル法
案デアリ、其關係スル所、其内容ガ非常ニ
混雜シテ居ル、即チ震災兩法案ノ關係、震
災手形其物ノ内容、又特殊銀行ノ整理ト本
案トノ關係ガ非常ニ複雑ニナッテ居ル、ナカ
ナカ短日月デ我モ此法案ノ審査ヲ盡スコト
ハ困難デアリマス、デアリマスケレドモ、
我モ出來ルダケ當局ニ質問イタシマシテ、
要スルニ國民ノ負擔ヲ成ルベク少クシテ、
財界ノ救済ニ最モ有效ナルヤウニ致サナケ
レバナライ、是ガ必要ナル點デアル、本
案ノ金額ト云フモノハ二億七千万デアル、
二億七千万ト云フモノガ全部必要デアルカ
ナイカト云フコトガ、第一我ニハマダ十
分了解ガ出來ナイノデアリマス、デアリマ
スケレドモ、是ハ既ニ已ムヲ得ナイモノト
此際ハ見ナケレバナラヌ、如何トナレバ一
億圓ハ既ニ前ノ約束デアル、併シ後トノ一
億七千万圓ハ、若シ震災手形昨年ノ秋以
來決済スルト云フコトガ國民一般ニ分ラズ

ニ居タナラバ、尙ホ今日ヨリモ減ッテ居リ
ハシナイカト云フ考ガ出ル、即チ特殊銀行
ト普通銀行トノ震災當時ト、現時トノ其減
少サレタ狀態ニ依ッテ、普通銀行ノ狀態ガ
大震災ヲ受ケタケレドモ、相當ニ健全ニ
思ッタヨリモ健全デアルヤウニ見エル、然ラ
バ之ヲ今少シ延期シタナラバ尙ホ減少サレ
ルコトガ相當ニアルヤウニ思ハレルケレド
モ、併ナガラ既ニ斯ウ云フ法案ガ出ルヤウ
ニナッテ以上ハ、是ハドウモ已ムヲ得ナイ
トシテ、此國民ガ二億七千万全部ヲ負擔ス
ル、寧ロ一億七千万圓ハ貸付ケル、全損ニ
ナルベキモノデアリマセヌガ、兎ニ角差
當リソレダケノモノヲ負擔スルト云フコト
ハ已ムヲ得ナイト承認イタシマシテ、サウ
シテ今日前ノ狀況カラ考ヘ、財界ノ安定ヲ
一日モ早く安定サセナケレバナラヌト云フ
ヤウナ狀態ニアル、緊急狀態ニアルノデア
ルカラシテ已ムヲ得ナイモノト認メル外仕
方ガアリマセヌ、併ナガラ私共トシテハ過
日來ノ應答ニ於テ第一案ハ承認シ、第二案
ノ善後處理法案ノ中ノ臺灣銀行ニ對スルコ
トハ必要ト云フ結論ヲ得タ所ニ、更ニ今日
特ニ臺灣銀行ニ對スル當局ノ必要ナ都合デ
アリマシテ、其實ハ唯臺灣銀行ガ必要デア
ルト云フコトノ御説明デアッタバカリソレ
丈今附加ハッタノデナシニ、今少シソレヲ
深ク今マデ特別委員會デ討議研究シタノニ
考ヘ及ベバ、私トシテハ餘程、茲ニ疑ガ起
テ來ル譯デアリマスガ、此際ソノ事ヲ申
ス時デアリマセヌガ、唯前田子爵ガ政府ノ
言明ヲ信賴スルト云フ點ニ對シテ、私ハ政
府ノ特別委員デ御話下サツタ政府ノ御意見
ト今日ノ御意見トハ聊カ矛盾ガアッタ、私
ハ今日茲ニ政府ヲ信賴シテ之ヲ承認スルト
云フコトハ出來ナイ、財界ガ餘リニ動搖シ
テ居ルカラ緊急已ムヲ得ナイ、唯、此際特ニ

私ハ總理大臣ニ希望イタスノハ、即チ我
ヲシテ今後當局ヲ信賴セシムルヤウニ、即
チ我々ノミナラズ國民ヲシテ信賴セシムル
ヤウニ、サウシテ震災兩法案及國民ノ疑惑
ヲ解クヤウニ十分信賴ノ出來ルヤウニ致サ
レルコトヲ希望シテ、切ニ希望シテ已ムヲ
得ズ賛成イタシマス

○子爵前田利定君 唯今福原君ノ御演說ニ
關聯シテ居リマスカラ、福原君ハ私ガ言
明ニ信賴スルト言ッタコトニ付テノ意味合
ヲ誤解ナスッテ入ッシャルト思ヒマス、私ノ
信賴シト云フノハ臺灣銀行ガ此法案ガナク
シテハ歩ンデ行カレナイ、斯ウ申サレタコ
トニ付テハサウデアラウ、ト云フ意味ナン
デ、私モ個人ト致シマシテ色モ臺灣銀行ノ
内幕其他ニ付キマシテ多少調べテ居マシテ
左様ナ見解ヲ持ッテ居リマス所ヘ、ソレト符
フ合ハセラルヤウナ御説明ガアリマシタカラ
其ノ仰ッシャル御言葉ニ付テハ信賴スルト
斯ウ云フ意味デアリマスカラ、

○石塚英藏君 私モ本案ニ對シテハ已ムヲ
得ズ賛成ヲ表スル者デアリマス、財界ノ現
狀ニ照シテ結局賛成スル外ナイカト考ヘ
ル、但シ前田子爵ノ提出ニナリマシタ希望
條件、是ハ飽迄モ嚴重ニ御守リニナッテ萬
遺算ヲ招カスト云フ所ノ御考デ御實行ニナ
ルコトヲ希望シテ賛成イタシマス

○阪本彰之助君 本員ハ此兩法案ヲ引離シ
テ議シタイト思フノデアリマス、第一ノ損
失補償公債法案ト云フモノハ既ニ既定ノ事
實デアリマシテ、政府ハ日本銀行ニ對シテ
命令ヲ下シテ居ル、唯、此一億萬圓ノ中、
成ルベク儉約スルカセヌカト云フ御話、是
ハ手ノ著ケヤウガナイコトデアリマスカラ
強ヒテ異存ハ申シマセヌ、次ノ善後處理法
案ニ至リマシテハナカ、議論ノアルコト
デアリマシテ、段々已ムヲ得ズ賛成、已ム

ヲ得ズ賛成ト云フヤウナ賛成デアリマス
ガ、私ハ已ムヲ得ルト思フノデアリマス、
斯様ニ申スト甚ダ無謀ナコトヲ言フト云フ
御説モゴザイマセウガ、今日ノ段々經過ヲ
見マシテ、此處理法案ハ一考ヲ要スルモ
ノト考ヘル、先日來臺灣銀行ハ別トシテ他
ノ銀行ノ救済ガ必要デアル、最必要デア
ト云フガ如クニ説明サレテ居タノデアリ
マス、今日ニ至ッテハ臺灣銀行ガ主ナルモ
ノニナッテ、而シテ唯今條件トシテ前田子
爵ガ御持出シニナリマシタ、是ガ最モ力ガ
アルト云フ、私ハ力ハナイト思ヒマスガ、
力アルガ如ク見テ諸君ガ御賛成ニナッテ居
ル、第二ノ即チ臺灣銀行ノ整理、ハ必シ
モ此善後處理法案ガ有ル無イニ拘ラズ政府
トシテハ無論第二ノ整理ヲ：第一整理ヲ
爲サレタ、先ヅ宜イト云フコトデアリマシ
タラ、豈圖ランヤ又イケナイ、第二ノ整理
ヲ十分ニ爲サルト云フコトハ政府當然ノ御
仕事デアリマシテ宜シク御ヤリニナルガ宜
シカラウ、ソレナコトハ註文シナクテモヤ
ルノガ當リ前、ソレヲ如何ニモ註文ラシク
云ウテソレデ以テ世間ノ耳目ヲ蔽ウテ賛成
スルト云フコトハ私ハ致シマセヌ、ソレデ
私ハ此處理法案ハ先ヅ以テ本年ハ延期ノ意
味ニ於テ否決ヲシマシテ、臺灣銀行ノ如キ
コトナドハ宜シク政府ハ力ヲ盡シテ整理改
良ヲ加ヘラルガ宜シカラウト思フ、殊ニ
委員ヲ設クルト云フヤウナコトハ立法政府
ノ者デ斯様ナコトニ携ッテ責任ヲ持ツト云
フコトハ甚ダ宜シクナイ、自ラ地位ヲ輕ン
ズルモノデアリ又間違テ居ル、斯様ナコ
トニ立法府ノ人ガ手ヲ出スベキモノデナ
イ、是マデ種々ナ委員ガ出來テ居リマス
レドモ、皆ナ是ハ多ク貴衆兩院ノ肩書デ出
テ居ルノデハナイ、所謂學術經驗ト云フ意
味デ選擇サレタ形ニナッテ居ル、然ルニ今

度ハ麗々ト貴衆兩院ヲ加ヘロト云フ意嚮ヲ
貴族院カラ註文スルト云フコトハ私ハ頗ル
感服スルコトガ出來ナイ、殊ニ第三ノ臺灣
銀行ノ内部ノ整理ト云フモノニ對シテ、貴
衆兩院ガ委員ニナリタイナドト云フコトヲ
自ラ言フコトハ：是ハ政府ガ事務ヲセラ
ル、意味ニ於テ當然ノ仕事デアル、政府ハ
宜シクサウ云フモノガ必要デアルナラバ經
濟上ニ知識ノアル人ヲ御寄セニナリ、世間
ニ信用ノアル人ヲ御寄セニナッテ、此貴衆
兩院モ偶、這入ッテ居テモ宜イ、政府ガ見
テ御入レニナルト言フナラバソレデ宜シイ
ノデアル、ソレヲ此方カラ貴衆兩院ヲ入レ
ロト云フコトヲ註文シテ、而シテ之ヲ大變
立派ナ條件ナル如クニシテ此案ヲ見逃スト
云フコトハ私ハ御同意出來マセヌ、故ニ第
一案ハ賛成イタシマスガ、第二案ハ絕對ニ
反對ヲ致シマス
○委員長(伯爵林博太郎君) 他ニ御意見ノ
御開陳ガゴザイマスカ：略、御意見ノ御
開陳ハ相濟ミマシタヤウデゴザイマスガ
ラ、御異議ガゴザイマススケレバ採決ニ移
リタイト考ヘマス、御異議ナイモノト認メ
マス、本兩案ニ付キマシテハ唯今阪本君ヨ
リ此處理法案ニ付テ否決ノ御意見ガアリ
マシタカラ、此兩案ヲ引離シテ採決ヲ致シ
マス、震災手形損失補償公債法案、之ヲ原
案通り可トスル方ノ起立ヲ請ヒマス
○委員長(伯爵林博太郎君) ソレハ後デ
總員起立
○委員長(伯爵林博太郎君) 全會一致デゴ
ザイマス、次ニ震災手形善後處理法案ヲ問
題ニ供シマス、震災手形善後處理法案ヲ原
案通り可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
○委員長(伯爵林博太郎君) ソレハ別デス

後デヤリマスカラ：

起立者 多數

○委員長(伯爵林博太郎君) 多數デゴザイ
マス、是ニ依ッテ此兩案ハ可決ニ相成リマ
シタ、次ニ前田子爵ヨリ附帶決議トシテ希
望ヲ述べラレマシタ、此附帶決議トシテノ
希望決議ガ特別委員會ノ希望決議トスルト
云フコトヲ可トスル方ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數

○委員長(伯爵林博太郎君) 多數デゴザイ
マス、是ハ此特別委員會ノ希望決議ト相成
リマシタ次第デゴザイマス、是ニテ散會イ
タシマス

午後四時二十一分散會
出席者左ノ如シ

委員長 伯爵林 博太郎君
副委員長 男爵阪谷 芳郎君
委員

子爵前田 利定君
子爵裏松 友光君
石塚 英藏君
男爵福原 俊九君
男爵池田 長康君
阪本 彰之助君
橋本 圭三郎君
菅原 通敬君
馬場 鏐一君
樺山 資英君
大橋 新太郎君
坂田 貞君
山崎 龜吉君

國務大臣

內閣總理大臣 若槻禮次郎君
大藏大臣 片岡 直溫君

政府委員

大藏參事官 中野 正剛君
大藏省銀行局長 松本 脩君

貴族院朝鮮事業公債法改正法律案外
三件特別議事速記第二號正誤

頁	段	行	誤	正
一	二	二九	京元	慶源
五	三	一四	傳記ト	傳記ニ
同	同	二三	元良哈	瓦爾喀
一〇	四	三四	民政部	人民
一三	二	一九	ナイノデ	アルガ

貴族院朝鮮事業公債法改正法律案外
三件特別議事速記第三號正誤

頁	段	行	誤	正
二	三	二〇	爪哇	布哇
七	二	一一	汕頭	三都澳
同	同	二四	カラモ同ジ	カラモ三門
同	同	二四	カラモ同ジ	灣ヲ借リタ
同	同	二四	カラモ同ジ	イト同ジ

昭和二年三月二十四日印刷

昭和二年三月二十五日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局